

暑熱対策に取り組みましょう！

今年も梅雨が明けると暑い夏がやってきます。牛は暑さに弱い動物で、適温は10℃から18℃と言われています。暑熱による影響には、

- ・ 乳量、乳質の低下
- ・ 増体量の低下
- ・ 受胎率の低下、繁殖障害
- ・ 乳房炎をはじめとする感染症の増加



などが挙げられます。牛舎環境・飼料給与をうまくコントロールして暑さのストレスを軽減し、牛が快適に夏を過ごせるようにしましょう。

暑熱対策

<牛舎環境>

- ・ 大型換気扇、送風機により牛に風があたるようにする（細霧装置による散水と併用するとより効果的）。
※特に発熱量の多い首や肩に当てるようにする。
- ・ 屋根への散水、白色系塗料や石灰の塗布、断熱材の利用。
- ・ 直射日光や反射光が当たらないよう日よけ、ひさし、ネットに這わせた植物等の利用。
- ・ 密飼いを避ける。毛刈りの実施。

<飼料給与>

- ・ 涼しい時間である早朝や夜間に給餌する。
- ・ 給餌回数を増やす。
- ・ 冷たく新鮮な水が十分に飲めるようにする。
- ・ ミネラル、重曹を給与する。
- ・ 良質な粗飼料を給与する。



早めの対策で暑い夏を乗り切りましょう！

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345
TEL : 0463-58-0152 FAX : 0463-58-5679

<西部出張所> (足柄上合同庁舎第2別館3階)

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 2489-2
TEL:0465-83-3003 FAX:0465-82-6330